

## 「潟端ふれあい能」 若い世代と集落のつながり

8月26日（木）、潟端諏訪神社能舞台上で「佐渡と沖縄・文化芸能交流 ふれあい薪能」が開かれました。主催は観世緑泉会で、諏訪神社能舞台を活かす会が協力しました。

今回は、古典能、佐渡芸能、琉球舞踊が披露されました。最初に、平安時代初期の征夷大將軍、坂上田村麿の霊が登場する「田村」が上演されました。シテを演じたのは、観世流緑泉会代表会主で重要無形文化財能楽総合認定保持者である津村禮次郎さんです。夏の夜に浮かび上がった能舞台で舞われる古典能を訪れた観客は静かに見つめていました。

続いて、佐渡芸能として、地元の潟端鬼太鼓保存会が登場し、焚火の明かりの中で、勇壮な舞を披露しました。

最後に、三線の演奏に合わせて舞う琉球舞踊が披露されました。佐渡では馴染みがない踊り、衣装、楽曲など、沖縄特有の豊かな芸能の一端を垣間見ることができました。

諏訪神社能舞台を活かす会の代表である近江幸次さんは、「コロナ禍で宣伝など、難しい面があったが開催までこぎ着けた。出演者も観客も喜んでいただけて良かった。」と話していました。

30数年前から活動を続けている諏訪神社能舞台を活かす会は、現在、10人余りの有志で活動しています。潟端諏訪神社の能舞台の活用として、両津吉井小学校と連携したり日本女子大の学生などと交流したり、津村さんらと共に佐渡の芸能の発展と継承に努めています。若い世代と地元のつながりも活動の中から生まれています。

津村さんは、「潟端の地域のみなさのご好意が毎年ありがたく、我々の活動の充実につながっていることを感謝しています。」と、話していました。



▲勇壮な「琉球舞踊」



▲潟端鬼太鼓保存会



▲観世流能楽師 津村禮次郎さん



▲代表の近江幸次さん

## ～ 文化振興に関する県民意識について ～

新潟県知事政策局広報広聴課が文化振興に関する県民意識をテーマに実施した「県民アンケート」の調査結果が、報告されました。

この調査の目的は、新潟県が平成29年に「新潟県文化プラン」を「新潟県文化振興ビジョン」と改定し、県全体の文化振興を図っていく中で、今後の県の文化振興における取組の参考にすることを目的としています。

今回は調査結果の一部を紹介します。

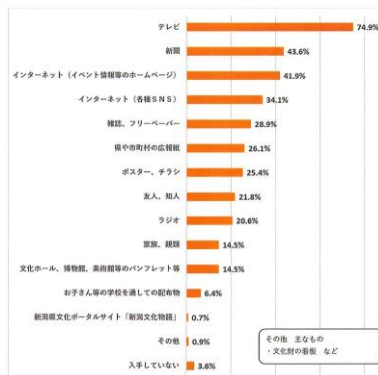
- ・調査テーマ  
文化振興に関する県民意識について
- ・調査期間  
令和3年6月3日～6月25日
- ・調査対象者  
新潟県内に在住する18歳以上79歳以下の男女
- ・回答者  
422人

# ～ 文化振興に関する県民意識について(つづき) ～

コロナ禍で実施された調査の中で、特に情報についての設問に注目してみました。

## ■設問 昨年度1年間、どのような媒体から文化に関する情報を入手したか

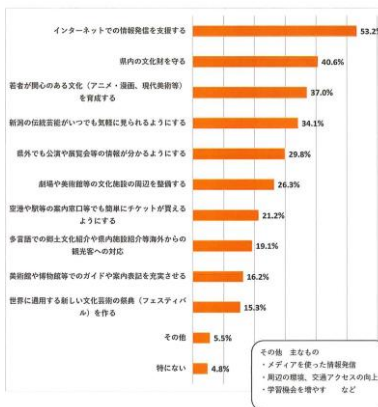
県民が、どのような媒体から情報を取っているかという設問ですが、「テレビ」74.9%、「新聞」43.6%に続いて、「インターネット(イベント情報等のホームページ)」41.9%、「インターネット(各種SNS)」34.1%、となっています。若い世代(18～39歳)で見ると、テレビとSNSがほぼ同じ数値となっています。



▲文化に関する情報の入手

## ■設問 新潟県の文化を観光資源として魅力あるものにしていくために重要だと思うこと

回答は上位から、「インターネットでの情報発信を支援する」53.2%、「県内の財産を守る」40.6%、「若者が関心のある文化を育成する」37.0%でした。佐渡地域で見ると、「インターネットでの情報発信を支援する」がトップで、「県内の文化財を守る」、「県外でも公演や展覧会等の情報が分かるようにする」、「多言語での郷土文化紹介や県内施設紹介等海外からの観光客への対応」が同率でした。



▲観光資源として重要なこと

## ■ますます需要が増す、インターネットの活用

2つの設問から見てきたことは、テレビや新聞といった既存の媒体から文化情報を入手する世代は、若い世代ほど少なく、代わりにSNSから入手する傾向にあります。また、重要な支援としてもインターネットの情報発信を挙げる回答が多くありました。他の設問で「文化を活用したまちづくりや観光等への取り組み状況」について問う設問においても、3割の回答者が「取り組み状況を知らない」と回答しています。

以上のことから、新着情報は当然ながら、既存の文化財や芸能などの基礎情報なども随時、発信していく必要性を感じました。また、取り組んでいる事業などの進捗や成果なども発信して、広く理解を深めていただくことが文化をより身近に感じてもらうために必要であることがわかりました。

他の設問や調査結果など詳しい内容は、新潟県のホームページで、ご覧ください。



新潟県ホームページ  
県民アンケート  
QRコード

## 佐渡の芸能を後世へ ～ご寄付・ご支援のお願い～

島に響く太鼓の音、島民の笑顔、子どもたちの輝く目、佐渡の日常には文化・芸能が密接に関わっています。

この日常が次世代へ続くように、当財団では佐渡文化の継承・保存活動に取り組んでおります。

ご賛同いただける方のご支援をお願いしております。詳しくは下記QRコードからホームページをご覧ください。



○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。



佐渡文化財団の活動、和楽器貸出、通信販売など詳しくはコチラから

